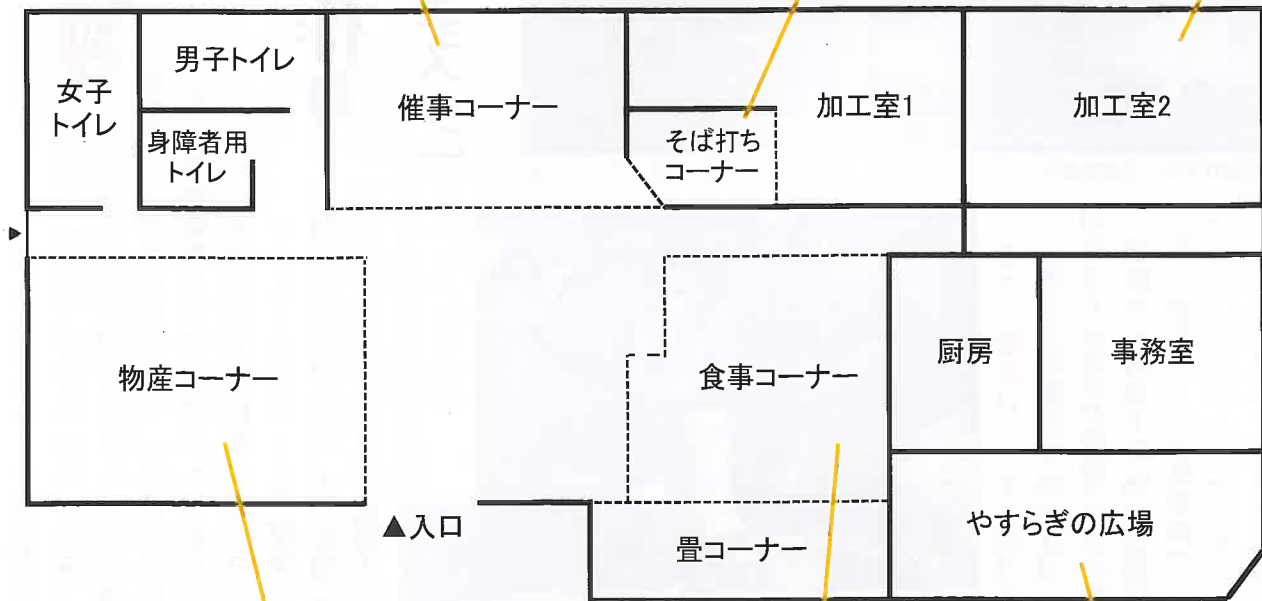




▲ニセコ町や上山市、沖縄県の特産品も販売する催事コーナー

▲ガラス越しに実演が見られるそば打ちコーナー

▲漬物(2次加工)や味噌などが製造できる加工室



▲村産の農産物や加工品が並ぶ物産コーナー



▲おにぎりやそばなどの軽食が味わえる食事コーナー



▲板張りになっている野外の休憩スペース



▲一般公開で店内を見学するセレモニー出席者ら

セレモニー後に一般営業が開始されると、オープンを待ちかねた買い物客らが続々と店内に入り、物産コーナー・催事コーナーの農産物や特産品、焼きたての米粉パンなどを買い求めていました。

またオープン日からの4日間、いたてまでい流・情報・交流事業「ワクワクまつり」として、手打ちそばと米粉パンの試食、振る舞いなど、伝統芸能発表、米粉パン作り体験、そば打ち体験などのイベントが行われました。

もりの駅「まごころ」の営業時間は午前9時～午後6時。年末年始を除き、毎日営業しています。

○もりの駅「まごころ」
(☎42-1105)

もりの駅「まごころ」オープン

11/1

村の新しい産直施設



▲テープカットする5人(左から甲賀局長、加藤県議、菅野村長、北原議長、佐藤さん)

村が改修を進めてきた旧ステーキハウスが、産直施設もりの駅「まごころ」として新たにオープンしました。

開店日には、関係者らが出席して神事やオープニングセレモニーなどを行い、施設の発展を祈願しオープンを祝いました。

村の新しい産直施設もりの駅「まごころ」をご紹介します。

この施設は、村が電源立地地域対策交付金事業の補助を受け、村産の農産物や加工品、特産品などの直売施設として改修しました。

施設の管理運営は、村が指定管理者として定めた(財)飯館村振興公社があたります。

店内の物産・催事コーナーには、村内産の農産物や加工品、店内の工房で製造した米粉パンなどのほか、村とつながりのある北海道ニセコ町、山形県上山市、沖縄県の特産品も取りそろえています。

また、食事コーナーでは、おにぎりや村産のそば粉を使用した手打ちそばを味わうことができます。

オープニングセレモニー

開店に先立ち、施設前でオープニングセレモニーが行われ、村や県の関係者、村議会議員、行政区長など約70人が出席しました。

セレモニーでは、はじめに菅野村長があいさつした後、来賓の北原昇村議会議長と加藤貞夫県議会議員、

甲賀敬福島県相双地方振興局長、湯田俊介福島県原子力等立地地域振興事務所長から、それぞれ祝辞が述べられました。

また、施設の名付け親である佐藤みつ子さん(草野)に命名賞の記念品が贈られました。

最後にテープカットが行われ、菅野村長と北原議長、加藤県議、甲賀局長、佐藤さんの5人がテープにはさみを入れ、施設のオープンを祝いました。



▲新しくオープンしたもりの駅「まごころ」